

平成18年11月14日

日本医師会  
会長 唐澤 祥人 様

日本小児神経学会  
理事長 三池 輝久



拝啓

晩秋の候、日本医師会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご厚誼を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、去る10月末、日本周産期・新生児医学会 堀内 勁理事長より「福島県立大野病院の医師逮捕・起訴について」の声明文をいただきました。

私ども、日本小児神経学会会員はまず、亡くなられた患者様に深く哀悼の意を表し、ご家族の皆様には心からのお悔やみを申し上げたいと思います。

また、日本小児神経学会は当該医療の実態についての調査徹底を全面的に支持するものであります。しかしながら、今回の、担当医師に対する対処のあり方、逮捕・起訴には疑問を感じざるを得ません。連日、身を粉にして診療にあたっている日本小児神経学会会員にとりましても診療への心の萎縮をもたらす可能性があると思料いたします。

したがいまして、日本小児神経学会といたしましても、この日本周産期・新生児医学会の抗議声明への支援を表明したいと考えます。日本医師会の皆様のご理解をいただければ幸いです。

敬具